

豊かな色彩と精緻な響きを聴く。世界で絶賛を浴びる夢のアンサンブル

Ensemble Wien=Berlin

アンサンブル・ウィーン=ベルリン

2024年

10/3木 13:15開場
14:00開演 マーキーホール



プログラム決定

モーツァルト：セレナード 第12番 ハ短調 K.388 (384a) 《ナハトムジーク》

W.A. Mozart (arr. Rechtman) : Serenade c-moll K.388 (384a) für Bläser "Nacht Musique"

セルヴァーンスキ：木管五重奏曲 第1番

E.Szervánszky : Bläserquintett Nr.1

ハース：木管五重奏曲 Op.10

P. Haas : Bläserquintett Op.10

ドヴォルジャーク：弦楽四重奏曲（木管五重奏版）第12番 ヘ長調 Op.96 《アメリカ》

A. Dvořák (arr.Schaefer) : Streichquartett (für Bläserquintett) Nr. 12 F-Dur Op.96 "Amerikanisches"

世界を魅了する五重奏がミューズ初登場

1983年の結成以来、メンバー交代をしながらも40年にわたって世界最高峰の室内アンサンブルとして君臨してきた〈アンサンブル・ウィーン=ベルリン〉が、ついに所沢ミューズに初登場します。プログラムも多彩な時代の魅力ある曲目が並びました。

モーツァルトの《ナハトムジーク》はセレナードには珍しいハ短調でドラマティックな表情を持ち、ドヴォルジャークの《アメリカ》はボヘミアの情緒と伸びやかな旋律美が魅力です。セルヴァーンスキはバルトークやコダーイの後継者であり、ハンガリーの民族的な響きや躍動するリズムが聴き手を魅了します。チェコのブルノに生まれたハースはドヴォルジャークやヤナーチェクの音楽を引き継ぐ後期ロマン派の作曲家。モラヴィアを特徴づける陰影に富んだフレーズや繊細なハーモニーが見事な傑作です。

3つの名門オケから集結した5人の名手。その実力が遺憾なく発揮される名曲の数々を親密な空間のマーキーホールで存分にお楽しみください。

